



2020年2月14日

各 位

会社名 鹿島建設株式会社
代表者 代表取締役社長 押味 至一
(コード番号 1812 東証・名証各第一部)
問合せ先 財務本部資金部長 佐伯 勇治
(TEL. 03-5544-1111 (代表))

グリーンボンド（第46回無担保社債）発行に関するお知らせ

当社は、神奈川県横浜市西区のみなとみらい 21 中央地区 58 街区に建設中の「横濱ゲートタワー」、並びに東京都港区元赤坂一丁目に 2016 年 8 月に竣工した「KT ビル」の建設資金のリファイナンスを用途とするグリーンボンド（鹿島建設グリーンボンド）を本年 2 月に発行（以下、本発行）予定であり、本日 2 月 14 日に、本発行に向け社債の訂正発行登録書を開東財務局長に提出いたしましたのでお知らせします。

■本発行の目的及び背景

当社グループは、2013 年に環境への取組みの基本として「鹿島環境ビジョン：トリプル Zero2050」を策定し、持続可能な社会を「低炭素」「資源循環」「自然共生」の 3 つの視点でとらえ、Zero Carbon、Zero Waste、Zero Impact の達成に向けた取組みを積極的に推進しています。特に、低炭素については、パリ協定なども踏まえ 2018 年度に削減目標を刷新し、温室効果ガス排出量を 2050 年までに 2013 年度比で 80%以上削減することを目標としました。

また、「鹿島グループ中期経営計画（2018～2020）」では ESG の観点を重視した施策を推進し、事業を通じた社会課題の解決に取り組む方針としています。昨年 8 月には当社グループが社会とともに持続的に成長するために対処すべき重要課題として、SDGs などの社会課題に関連する 7 つのマテリアリティを特定しました。その 1 つとして「環境 低炭素社会移行への積極的な貢献」を掲げ、自社の事業活動と顧客の事業活動支援の両面から取組みを強化しております。

今般、環境に関する当社グループの先進的な取組みを幅広いステークホルダーの方々にご認識いただくべく、当社はグリーンボンドを発行することとしました。今回のグリーンボンドの発行を通じて調達した資金は、鹿島環境ビジョンに即したグリーンビルディングの開発に充当され、本発行を通じて、低炭素社会移行への積極的な貢献をしていきたいと考えています。

今後も当社グループは、「社業の発展を通じて社会に貢献する」という経営理念のもと、環境に関わる取組みなどを通じ持続可能な社会の実現への貢献に努めるとともに、まちづくり、建造物の構築や社会インフラの整備の分野で、品質に優れたサービスを生み出し、提供し、そして検証する仕組みと体制を整備することにおいて、世界で最も評価され、信頼される企業グループを目指します。

■本発行の概要

名称	鹿島建設株式会社第 46 回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (グリーンボンド)
別称	鹿島建設グリーンボンド
発行総額	100 億円 (予定)
発行年限	5 年 (予定)
発行時期	本年 2 月頃 (予定)
資金使途	① 横濱ゲートタワー： 建設資金のリファイナンスに充当 60 億円 (予定) ② KT ビル： 建設資金のリファイナンスに充当 40 億円 (予定)
主幹事	SMBC 日興証券株式会社、大和証券株式会社 野村證券株式会社、みずほ証券株式会社
Green Bond Structuring Agent	SMBC 日興証券株式会社

■グリーンボンドとしての適格性について

当社は、グリーンボンドの発行のために「グリーンボンド原則 (Green Bond Principles) 2018」(注 1) および「グリーンボンドガイドライン 2017 年版」(注 2) に即したグリーンボンドフレームワークを策定しました。

グリーンボンドに対する第三者評価として、株式会社格付投資情報センター(以下、R&I)より、「R&I グリーンボンドアセスメント」において、当該フレームワークが「グリーンボンド原則 2018」および「グリーンボンドガイドライン 2017 年版」に適合する旨のセカンドオピニオンを取得しており、あわせて最上位評価である「GA1」(注 3) の予備評価を取得しております。

また、本社債の発行に当たって第三者評価を取得することに関し、環境省の「2019 年度グリーンボンド発行促進体制整備支援事業」の補助金交付対象となることについて、発行支援者たる R&I は一般社団法人グリーンファイナンス推進機構より交付決定通知を受領しました。

(注 1) グリーンボンド原則 (Green Bond Principles) とは、国際資本市場協会 (ICMA) が事務局機能を担う民間団体であるグリーンボンド原則執行委員会 (Green Bond Principles Executive Committee) により策定されているグリーンボンドの発行に係るガイドライン。

(注 2) グリーンボンドガイドライン2017年版とは、グリーンボンド原則との整合性に配慮しつつ、市場関係者の実務担当者がグリーンボンドに関する具体的対応を検討する際に参考とし得る、具体的対応の例や我が国の特性に即した解釈を示すことで、グリーンボンドを国内でさらに普及させることを目的に、環境省が2017年3月に策定・公表したガイドライン。

(注 3) 「R&Iグリーンボンドアセスメント」とは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度を、グリーンボンド原則に掲げられた項目を含む評価基準に従って5段階の符号で評価し、債券の償還までモニタリングを行うものです。それに付随してグリーンボンドフレームワークに関してのセカンドオピニオンを提供することがあります。セカンドオピニオンとは、発行体等が定めるグリーンボンドのフレームワークが、グリーンボンド原則等に則しているかを評価するものです。

■本グリーンプロジェクトの概要①

建物名	横濱ゲートタワー
事業主	鹿島建設(株)・住友生命保険(相)・三井住友海上火災保険(株)
計画地	横浜市西区高島一丁目2番50ほか12筆
主要用途	事務所、にぎわい施設、店舗、駐車場
敷地面積	9,307.95 m ²
延床面積	約 84,000 m ²
構造	S造(制震構造)
階数	地下1階・地上21階
最高高さ	109m
設計・監理	鹿島建設(株)
施工	鹿島・鉄建・小俣建設共同企業体
着工	2019年4月
竣工	2021年秋頃竣工(予定)
主な環境認証等	・CASBEE 横浜 自己評価 Aクラス BEE=1.8 BEI=0.83

※本リリースの内容は発表日現在のものであり、今後、変更となる可能性があります。



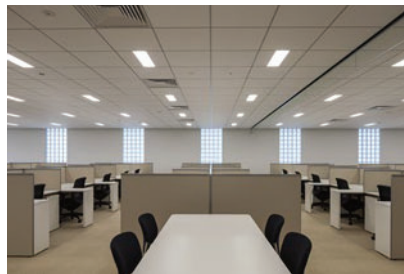
「横濱ゲートタワー」完成イメージ

■本グリーンプロジェクトの概要②

建物名	KT ビル
事業主	鹿島建設株式会社
所在地	東京都港区元赤坂一丁目 3-8
主要用途	1 階～12 階：オフィス
敷地面積	1,866.03 m ²
延床面積	11,791.87 m ²
構造	S 造（CFT 構造）、一部 RC 造
階数	地下 1 階、地上 12 階、PH1 階
最高高さ	54.91m
設計・監理	鹿島建設(株)
施工	鹿島建設(株)
着工	2014 年 9 月
竣工	2016 年 8 月
主な環境認証等	<ul style="list-style-type: none"> ・ CASBEE S クラス第三者認証取得 BEE=8.1 ・ BELS 認証（☆☆☆☆）取得 BEI=0.46 <p>国内のオフィスビルで初の「ZEB Ready」を実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2014 年度住宅・建築物省 CO₂ 先導事業(現サステイナブル建築物等先導事業) に採択 ・ 2019 年 5 月 第 57 回空気調和・衛生工学会賞技術賞（建築設備部門） <p>業績名：KT ビルにおける普及性を目指した ZEB Ready の実現</p>



「KT ビル」外観（遠景）



「KT ビル」室内モデル



「KT ビル」外観（近景）